

Vol.68 2026.7

キャンパスニュース

Campus News

今年も琵琶湖の空へ!

学生団体「Sky Traveler」が
鳥人間コンテストに出場

特集

Special feature

令和8年 3月末に土木工学科1期生が卒業しました

～静岡県庁3名をはじめとする、それぞれの就職先で新たな挑戦へ～

この春、土木工学科の一期生が巣立っていきました。

静岡理科大学理工学部土木工学科は、2025年度をもちまして無事完成年度を迎え、初の卒業生を送り出すことができました。

皆様の温かいご支援・ご声援、大変有難うございました。

教員一丸となって「世界で活躍でき、地域を支える優秀な土木技術者」を育成して参りましたが、日々のびやかに成長してゆく一期生達の姿は、我々土木工学科教員にとって、いつしか心の支えのような存在となっていたようにも思えます。

彼らが見せてくれた清々しく頼もしい姿を励みに、これからも引き続き、優秀な土木技術者を世界に輩出して参ります。

なお、本学の学部学科再編に伴い、土木工学科はこの春より都市デザイン学系へと発展的に改編されました。新たなスタートを切った都市デザイン学系とその卒業生達の活躍に、是非ご期待下さい。

初代学科長 松本 健作



卒業生の声

学部生活を振り返ると知識や興味の幅を広げられた四年間であったと思われまふ。そんな大学生活で特によかったと感じていることは、先生方に相談しやすい環境にあります。私自身、授業で理解できなかったことを質問した際も、自分で調べただけではわからなかった点が解消され、単位取得の一助になりました。そうした環境により、安心して、大学院への進学を選択することができました。現在、修士論文として、地盤災害による被害を抑制することを目的に、豪雨時に発生する地盤災害の要因の一つとして考えられる現象を実験により再現すること、現地観測を行いどのような挙動がみられるかを観測することに取り組んでおります。

土木工学科 1期生 古賀 涼介

卒業生の進路について

今年度、記念すべき土木工学科1期生が社会へと巣立っていきました。キャリア支援の一環として、学生が安心してオンラインSPI試験やオンライン面接に臨めるよう、ゼミ室の一室を静かで安定した環境へ整備しました。実際に活用した学生から「集中して試験や面接に取り組めた」との声も寄せられています。地域の皆さまに支えていただきながら育った学生たちが、社会で活躍していく姿を今後も後押ししていきたいと考えています。

キャリア形成委員(都市デザイン学系 准教授) 居波 智也

進路先一覧(五十音順)

〈公務員〉 静岡県庁(3名) / 静岡市 / 牧之原市

〈民間企業〉 青木あすなろ建設株式会社 / 株式会社安藤・間 / 臼幸産業株式会社 / 遠鉄建設株式会社 / 木内建設株式会社 / 五洋建設株式会社 / 昭和設計株式会社 / 鈴与建設株式会社 / 大日本土木株式会社(2名) / 深田サルベージ建設株式会社 / 東急建設株式会社 / 中日本ハイウェイエンジニアリング東京株式会社 / 西松建設株式会社 / 日鉄テックスエンジニアリング株式会社 / 株式会社不動テトラ / ライト工業株式会社 / 菱和設備株式会社

〈進学〉 静岡理科大学大学院(2名)



先生のバックストーリー

鍋島 佑基 教授（環境システム工学研究室）



■ 恥の多い生涯

—というほど劇的でもなく、ただ平坦に、凡庸な人生であったが、幼稚園では花壇の脇で蟻を落として遊んでいるところを先生に見咎められ、両親はいたく心配していた。勉学では理科だけは勝手に頭へ入るのに、歴史の偉人たちは私の脳に届く努力を欠いており、私もまた彼らに欠片も興味がなかった。とりたてて夢も目標もなく、建築を選んだ理由は「入れそうだったから」という、思考放棄の賜物のような理由である。気づけば大学教員になっていたが、やりたい仕事というよりは、私が適応できる数少ない職種だったという方が正確かもしれない。趣味はバイクだったが、実際には何でもよくて、モノを使っては壊し、壊しては直し、直しては使ってまた壊すという、そのサイクルを楽しんでいた。あれは趣味というよりは小さな呪いのようなものだった。

■ なんとかする。

現実という地獄（社会というらしい）で生き残るためには、何か武器が必要で私にとっては湿気がそれだった。除湿フィルターを作り、ユニットを組み、システムを築き、ついにはAI開発へと歩を進めている。これは飛躍というよりは技術という階段をただ黙々と登ってきたにすぎない。気が付くと私の領域は、お茶やメロンの畑にまで広がっている。社会実装をテーマに研究を進めるうえで、エネルギー使用合理化や品質管理、労働最適化のためのデータを集めて分析することが私のこれからの研究になる。研究とは失敗の連続だが、私はその失敗を楽しむ奇妙な精神を授かったゆえに悲観はない。

つつい意味を持たせようと人生を脚色したり、ことさら未来を崇拜したがる人があるが、私にとっては目の前の状況を「なんとか」し続けた結果が人生なのであって、未来に向けてこれからも何とかし続けていくしかない。



所属職位 建築・都市デザイン学部 建築学系 教授

出身地 大阪府高槻市

簡単な経歴 2013年 北海道大学大学院空間性能システム専攻 博士後期課程修了

2014年 北海道大学大学院 博士研究員

2015年 (株)テクノフロンティア 主任研究員

2016年 豊橋技術科学大学 建築都市システム学系 助教

2019年 静岡理科大学 講師(理工学部)

2022年 静岡理科大学 准教授(理工学部)

2026年 静岡理科大学 教授(建築・都市デザイン学部)

趣味 ジャングルのアンティークウォッチ分解、クロスバイクをロードバイクに改造、バイクの分解清掃

座右の銘 その場のぎ

愛読書 人間、この劇的なもの(福田恒存)



▲趣味のバイクは「壊して直して」のサイクルを楽しむ



▲がけ崩れの現場を見学

第56回

研究室訪問

天然物化学研究室（理工学部 理工学科 物質生命科学系）



研究室担当教員

鎌田 昂 先生

北海道大学工学部卒。民間企業および海外大学での研究経験を経て、2018年に本学理工学部物質生命科学系に着任。2026年現在、本学理工学部物質生命科学系教授。大学広報委員長ならびに北海道大学広報アンバサダーとして、教育・研究活動の傍ら、積極的な広報活動を展開している。

天然物化学研究室では、生物が産生する二次代謝産物の多様な化学構造と多彩な機能に着目しています。研究対象は、浅海に生息する藻類、軟体動物および刺胞動物などの海洋生物ならびに陸上の苔類や生薬植物です。これらを題材として、新規天然有機化合物の探索と構造解析を行い、得られた化合物に対して着生阻害・害虫忌避・生長期害・抗人T細胞白血病活性といった生物活性を評価しています。研究成果は、環境対応型の農業や漁網、化粧品開発に繋がる知見となります。卒業研究では数多くの「野外調査」を取り入れ、学生が興味をもって意欲的に学べる環境作りを心がけています。今後も、学生の個性を尊重しながら、彼らを導くことを率先垂範してまいります。

研究室学生からひとこと

当研究室の強みは「研究成果を公表する推進力」と「就職・進学の出口を拡充する手厚い進路指導」にあります。私は、コケの中でも苔類のみがもつ油体の美しさに惹かれ、本研究室を選びました。在学中、兵庫県産の試料から複数の新規化合物を発見し、学会での公表を経て、現在は国際学術論文の執筆に取り組んでいます。これらの挑戦を通じて得られた確かな自信が、第一志望だった香料メーカーへの内定という結果に繋がりました。主体性を尊重し、高みを目指させてくれる環境がここにはあります。



▲学会でのレクチャーの様子



研究室URL



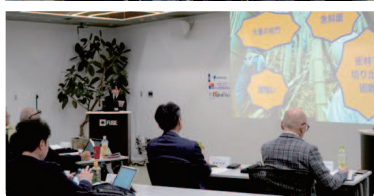
大学院理工学研究科 材料科学専攻2年 五十嵐 拓人さん

イベントレポート 2026.1-6

01 2026. 2/7 Sat.

高校生ものづくり・ことづくりプラン
コンテスト2025最終審査会

高校生の考える「こんなモノがあったらいいのに」や「こんなコトをやってみよう」というアイデアを競う、「高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト2025最終審査会」を浜松市のFUSEで開催しました。今回で13回目の開催となった本コンテストには、静岡県内外の51校の高校から184件の応募がありました。最終審査会に出場した5グループによるプレゼンテーションの結果、静岡県立静岡農業高等学校の増田亜美さんが考案した、「ゴールも地球も守る！竹製パンプラーで変える観戦スタイル」が最優秀賞に輝きました。



02 2/28 Sat.

令和7年度公開シンポジウム

「電動モビリティの要素技術と分散型エネルギー源としての新しい電力インフラモデル」をテーマに、本学で公開シンポジウムを開催しました。第一部は「電動モビリティを支える要素技術と周辺技術」のテーマで日産自動車株式会社 総合研究所 EVシステム研究所 主管研究員 加藤崇氏による講演を、第二部では株式会社GSユアサ 産業電池電源事業部 電源システム開発本部 川越開発部リーダー 加藤康司氏を加え「電動車を活用した新しい自家消費型エネルギーシステム」のテーマでパネルディスカッションを行いました。電気電子工学科 青山真大准教授がコーディネータを務め、当日は84名が参加し、「電動モビリティの社会的な必要性を知ることができて良かったです。」などの感想をいただきました。



03 3/7 Sat.

みんなが先生・みんなが生徒の学び合い！
みんなの大学

「誰かに伝えたい自分の興味のあること」を持つ方が講師となり、それを聞きたい(体験したい)方が受講者となる、生涯学習成果の発表・学習の場として「みんなの大学at静岡理科大学」を開催しました。当日は全15講座に61名が参加し、「初めて知ることができたものばかりで、すごく楽しかったです。」「1時間ではなくもっと聞いていたい程でした。」などの感想をいただきました。



04 3/16 Mon.

卒業式

令和7年度卒業証書・学位記授与式を挙行了しました。4年間の学修を終えた理工学部・情報学部の卒業生277名と大学院修士課程の修了生41名に学位記を授与しました。木村学長からは「自らの長所である“得意”を誰にも真似できないユニークな“特異”へと昇華させ、唯一無二の存在として、誇りを持ってこの静岡からそれぞれの活躍の舞台へと羽ばたいてください」とエールが送られました。



イベント情報

静岡理科大学大学祭
『SISTIVAL』
10月24日(土) 開催
25日(日)

ステージ企画、
公開講座など
さまざまなプログラムを用意し、
皆様のご来学をお待ちしています。

詳細は確定次第、
HP等でご案内します！



読者アンケート & プレゼント

キャンパスニュースに関するアンケートにお答えいただくと、抽選で10名に記念品が当たります。
なお抽選結果は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募フォームから
アンケート項目に
回答ください▶



回答期限:11月30日

COLUMN

遠州灘

社会人として歩み始めると、周囲の期待に応えようという力が入りがちだ。頼まれた仕事は次々と引き受けてしまい、気づけば『便利人』になってしまうことも。役に立つことは悪くない。ただ、その価値は他者の都合で左右されやすいもので、安定した立ち位置とは言い難い。

一方『必要とされる人』は、自分の考えをもち、できることを丁寧に積み重ねていくものだ。無理はしない。一つひとつに誠実に向き合う姿勢が信頼を育て、代わりのきかない存在へと変わる。

自分をすり減らしてまで誰かに合わせる必要はない。自分の価値を自分で守りながら、ゆっくりと信頼を築いていけば良い。『必要とされる人』は、焦らずとも着実に育っていくと私は思う。

(建築・都市デザイン学部 松本 美紀)

人事異動

令和8年着任教員の紹介(令和8年4月1日付採用)

【理工学科】特任教授 田辺 安忠



専門分野:ものづくり技術(航空工学分野)、数値流体力学、回転翼航空機の多分野統合設計解析
略 歴:九州大学大学院博士課程 応用力学専攻修了後、川田工業株式会社航空事業部ヘリ・テクノロジー・センター次長、無人システム室長等を経て国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)航空技術部門主幹研究開発員、同機構特任担当役等を歴任後、本学特任教授に就任。
趣 味:卓球、囲碁、ポケモンGO

【情報学科】講師 大塚 敬太



専門分野:写真・映像制作、コマーシャル撮影
略 歴:武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像学科専攻 修士課程修了後、東京工芸大学 芸術学部写真学科にて非常勤講師を経て、本学講師に就任。
趣 味:工作、読書

【理工学研究科】特任教授 川人 祥二



専門分野:ものづくり技術(機械・電気電子・化学工学)、電子デバイス、電子機器
略 歴:東北大学大学院博士課程 電子工学専攻修了後、東北大学助手、豊橋技術科学大学助教授、スイス連邦工科大学客員教授、静岡大学電子工学研究所教授を歴任後、本学特任教授に就任。
趣 味:楽器(エレキギター)演奏、軽音楽鑑賞、パズル

【情報学科】特任准教授 関 正宏



専門分野:仮想空間・VR分野、アプリケーション開発、開発マネージメント
略 歴:工学院大学大学院 工学部電子工学科卒業後、株式会社セガ、株式会社ドワンゴ、株式会社アルファコード等で開発マネージャーを担当後、本学特任准教授に就任。
趣 味:映画、ゲーム、ダンスミュージック

【情報学科】講師 銅田 真一



専門分野:データエンジニアリング・データサイエンス、情報教育、災害情報、観光情報
略 歴:私立高校教員やIT企業エンジニアとして勤務する傍ら、静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科博士後期課程を修了。その後、本学講師に就任。
趣 味:おしごと、音楽鑑賞、買い物

【学習・教育サポートセンター】特命准教授 長井 利樹



専門分野:数学教育、教職課程(生徒指導、進路指導、特別活動等)
略 歴:東京理科大学理学部卒業後、静岡県公立高校教員に採用。藤枝東高校、浜松北高校等の校長を歴任後、本学の特命准教授に就任。
趣 味:ガーデニング、ゴルフ

お疲れ様でした(令和8年3月31日付退職)

【土木工学科】教授 マハバトラ ケダーナッシュ

【情報デザイン学科】准教授 松田 崇

【コンピューターシステム学科】特任教授 富樫 敦

【教育開発センター】特命准教授 大石 昌利

【コンピューターシステム学科】特任講師 田山 直

【学長特別補佐】梅村 博之

役職者紹介

学長・大学担当執行役員
統括副学長/副学長 教育担当
副学長 研究推進担当/総合技術研究所所長
副学長 入試広報・大学広報担当
副学長 高大連携担当
理工学部長/理工学部長/大学院理工学研究科運営委員長
建築・都市デザイン学部長/建築・都市デザイン学科長
情報学部長/情報学科長
理工学部長/機械工学科長
理工学部長/電気電子工学科長
理工学部長/物質生命科学科長
建築・都市デザイン学部 副学部長/建築学科長
建築・都市デザイン学部 副学部長/土木工学科長
情報学部 副学部長/コンピューターシステム学科長

小栗 勝也 (教授)※兼
谷口 ジョイ (教授)※兼
事務局長
深澤 直人 (教授)
飛田 和輝 (教授)
南郷 勉 (教授)
水上 俊一郎 (教授)
後藤 昭弘 (教授)※兼
感本 広文 (教授)※兼
吉見 直人 (教授)
宮地 竜郎 (教授)
高野 敏明 (教授)
足立 智子 (教授)

*1やらまいかエデュケーションサイト

入試広報NEWS 進路イベントの日程【8月～12月】が確定しました。

オープン
キャンパス
8月～12月

8月16日(土)、9月13日(土)、10月12日(月・祝)、10月25日(日)、11月23日(月・祝)

※大学祭と同時開催

高校生の皆さん、ぜひ参加をご検討ください。お待ちしております。



参加・詳細はこちら

同窓会だより

この度、32期卒業生の代表として同窓会評議員に任命されました。久米昂貴です。今後は、同窓会評議員として、積極的に同窓会活動に取り組んでまいります。

昨年、本学同窓会は30周年という節目を迎えました。これまで築かれてきた歴史と歩みに敬意を抱くとともに、より大きな節目に向けて発展していく重要な時期にあると感じております。卒業生同士のつながりを深めるとともに、世代を超えた交流の機会を広げ、同窓会活動を一層活性化させていきたいと考えています。

まだまだ未熟ではございますが、皆さまと一緒に同窓会を盛り上げていけるよう尽力いたします。今後とも同窓会活動へのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

<卒業後所属>
静岡理科大学 大学院
理工学研究科 材料科学専攻

久米 昂貴さん



後援会だより 保護者懇談会の開催について

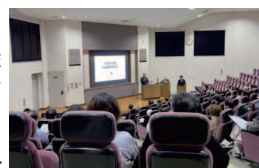
本学の保護者懇談会では、全体会と個別面談(希望者のみ)を開催しています。

全体会では、後援会の活動状況及び、キャンパス内環境整備などの近況や計画に関する報告、外部講師による講演会を行っています。また、個別面談では、助言教員より修学状況や就職活動状況、学生生活の様子などについてお話をさせていただくとともに、保護者の方からの相談を承っております。

昨年度の全体会では、人材サポート有限会社 代表 長崎一朗様より、「静岡県の大学生の就職をめぐる状況と保護者に求められる対応」をテーマにご講演いただきました。

2026年度の保護者懇談会については、前年度同様の開催方法を予定しております。詳細については、9月に送付する学納金納付書に案内文を同封させていただくか、Web ポータルでお知らせいたします。

全体会における木村学長の大学紹介▶



編集 後記

今号では、土木工学科1期生の卒業をはじめ、研究室での探究、在学生・卒業生の活躍、公開講座や体験講座など、本学の多彩な取り組みをご紹介します。誌面を通じて改めて感じるのは、学生の学びと成長が、キャンパスの中だけでなく、同窓生、保護者、地域の皆さまとのつながりの中で育まれているということです。本学が、地域に開かれた身近な学びの場であるとともに、学生一人ひとりの挑戦と成長を支える場でもあることを、少しでも感じていただければ幸いです。これからも、地域とともに歩む大学として、教育・研究の広がりや学生たちの姿を丁寧に伝えてまいります。今後とも静岡理科大学を温かく見守っていただけますようお願いいたします。

(情報学部 本多 明生)

静岡理科大学キャンパスニュース

令和8年7月31日発行

企画・編集・発行/静岡理科大学大学広報委員会

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

TEL.0538-45-0115 FAX.0538-45-0110

https://www.sist.ac.jp E-mail:nyushi@sist.ac.jp